



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和4年6月13日

文責：校長 濱本竜一郎

最後まであきらめず、思い出に残る、楽しい運動会



P T Aの乙丸会長様をはじめ、多くの方々の支えの中、5月28日（土）、運動会を実施できました。当日は、天候にも恵まれ、子供たちの精一杯の演技や競技を披露することができました。

卒業学年である6年生の感想に「全力を出し切ることができまし。」や「クラスのチームワークが高まりました。」などの言葉が多く見られました。子供たちが決めた運動会のテーマどおり、「最後まであきらめず、思い出に残る楽しい運動会」になりました。これも、保護者や地域の皆様のお力添えがあったからこそです。心から感謝申し上げます。

運動会で成長した子供たちの今！



運動会で成長した子供たちは、次のアクションを起こしています。

例えば、6年生は、「窓ガラス、ピカピカ大作戦」と銘打って、校舎1階の窓ガラスふきを買ってでてくれました。「憧れの最高学年」に向けた成長が止まりません。

一斉下校の中で見た「優しい子供」の姿

6月に入ると、全国的に「誘拐予告メール」が役場に届く事案が数多く発生しました。ちょうど同じ頃、町内でも児童への声かけ事案の情報が入ってきました。学校としましても、警察と連携しながら、低学年を6校時終了後まで残し、一斉下校をさせ、本校職員も車で巡回する措置を執りました。

そんな一斉下校の中、私も、歩いて子供たちを送っていた時のことです。高学年の子供が、自分の家を通り過ぎて、1年生の家まで送り届けて戻ってくるところに出くわしました。「遠かったでしょう。たいへんでしたね。」と声をかけると、「いいえ、すぐ近くですから。」と答えるのです。なんと優しい子供でしょう。感動しました。

大人も子供も、みんなでみんなを見守っている学校、それが小坂小なんだなあと思いました。普段から、地域で温かく見守っていただけていますが、不審者等の情報が入りましたら、学校に一報いただければ幸いです。よろしく願いいたします。